JA市原市広報誌

JAだより

7
July
2023
No.421

■今月の表紙
さんわ担い手組合／水稲など
詳細は8ページ

■特集1　JAだから「できたこと」 −JA市原市 令和4年度ダイジェスト−
■特集2　組合員がつくる明日のJA −今年は総代改選の年です−

JA市原市

特集1

―JA市原市 令和4年度ダイジェスト―

JAだから「できたこと」

JAの使命は、地域の食と農、くらしを守り、農業と地域社会の持続発展に貢献することです。

JA市原市では「持続可能性への挑戦～『食・農・地域を次代につなぐ身近なパートナーであり続けるために～』」をテーマに、農産物の販売力強化、農業生産の拡大、地産地消運動の促進などで、農業振興に取り組んでいます。

今回は、令和4年度の主な取組成果をご報告いたします。

攻める

販売力強化への挑戦

○販路拡大

生産者が手塩にかけた農産物を消費者に届けられるよう、「市場出荷」だけでなく、量販店やスーパー、卸、ゴルフ場、学校給食、直売所など、多様な販路拡大に努めました。

・直販係取扱高

4010万172円

○付加価値の創造

消費者・市場の信頼に裏付けされた「強いブランド」を維持するため、付加価値の増大に取り組みました

★品質向上

栽培講習や共同選果による選果基準の厳守

★認知度向上

市「ふるさと納税」返礼品にラインナップ。全国的イメージアップをはかりました。

「ふるさと納税」返礼品に梨・スイカ・メロンを提供

©よい食P

P10 税金ワンポイント講座
P11 頭の体操・文芸コーナーほか
P12 みんな来て果彩菜・旬のレシピ
P13－15 インフォメーション
P16 今月の煌めき女性―vol.19―

守る

生産拡大への挑戦

○助成制度の伴走支援

各種助成制度の申請支援をとおして、農家所得の増大に努めました。また、ＪＡ独自策として、主食用米出荷に対する奨励（事業分量配当）を支給しました。

・肥料価格高騰対策事業
（国・県）　申請件数　52件
・肥料・農業燃料等高騰支援金
（市）　申請件数　５００件
・事業分量配当
（ＪＡ）　２２８３万２５００円
・肥料共同購入積立金の取崩
（ＪＡグループ春肥料の価格維持）
県内で８５００万円

○生産コストの低減・省力化

★共同施設の運営

生産者の作業効率化とコスト削減および品質の高位平準化をはかりました。

・育苗センター
供給枚数　２万７９９７枚
・ライスセンター
総荷受量　５３４トン
・梨共同選果場　２１０トン
・姉崎集出荷場（ダイコン集出荷施設）
１万１４１７・５トン

★地産地消の拡大

・「いちはら産米」ノベルティー配布
４万２０００袋（５００ｇ）
※市の地産地消推進事業
・学校給食　13品目
・食農教育（施設見学受入、体験イベント、子ども食堂への食材提供）

★労働力支援・補完

・無料農業紹介事業
依頼78件　成約８件
・梨ヘルパー育成事業「梨ボランティア」の継続

令和４年梨ボランティア生
18期生６人・19期生５人

数字で見る 令和４年度 できたこと

販売品販売高	19億２４６４万１０００円（前年比106・２％）
米集荷量（主食用米）	４万５６８６俵（前年比95・３％）
直売所委託品売上高（果彩菜・Ａマート）	５７５４万２３０３円（前年比101・６％）
直売所来店数	９万９３５０人（前年比92・４％）
直売所出荷者数	１８０人（前年比97・８％）
農業融資件数	７件（前年比78・９％）
確定申告支援数	１２１５件（前年比94・７％）

contents No.421

P２－３　ＪＡだから「できたこと」
P４－５　組合員がつくる明日のＪＡ
P６－７　ＪＡ市原市主な出来事
P８　協同の力、農業の力
P９　あなたもチャレンジ！ 家庭菜園ほか

特集2

組合員がつくる明日のJA

ー今年は総代改選の年ですー

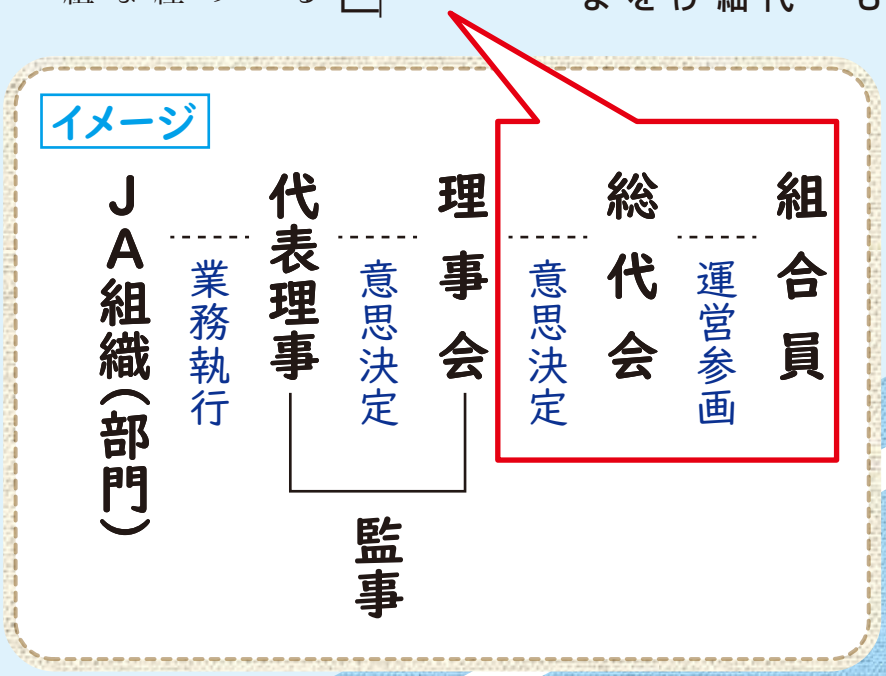
JA市原市は令和5年12月に、任期満了に伴い、各区域の組合員の代表である567人の総代改選を予定しております。

今回は、JAの意思決定機関である総代会や総代についてご案内いたします（詳細は後日説明会を行う予定）。総代の方だけでなく、組合員の皆さんが総代の役割をしっかり認識し、健全なJA運営を行いましょう。

JAの運営者は「組合員の皆さん」

JAは組合員の営農とくらしを守る「協同組合」です。

事業を利用するのも、方針を決めるのも組合員自身で「出資」「利用」「運営（経営）」の主体がそれぞれ異なる株式会社などとは違い、協同組合はそのすべてを組合員が行います。



ＪＡはさまざまな形で、組合員の声に耳を傾けています

▲ 認定農業者等への訪問活動

▶ 地区別総代説明会

総代会の役割と総代の任務

総会は全正組合員により構成される「ＪＡの意思決定機関」です。しかし、1万人近くの正組合員が一堂に会し、意見交換することは物理的に困難です。

そこで、総会に代わって総代会が設けられました。正組合員から地区ごとに選出された総代は「組合員の代表」として総代会に出席し、運営に参画します。

ＪＡ市原市は通常総代会を年に1回、3月に開いています。

総代の方は、地域の組合員とＪＡを結ぶ大切な役割を担っています。地域の組合員の声や地域が抱える課題をＪＡに伝えてください。

総代会エトセトラ

○総代会ではこんなことを決めます

組織に関する事項
・定款の変更や組合の合併、解散など
事業および運営に関する事項
・規約、信用事業規程等の設定、変更および廃止
・毎事業年度の事業計画の設定や事業報告の承認
・役員の選任　など

○総代の心構え

総代会は、総会に代わってＪＡの意思を決める大切な機関です。

総代は、総代会で「組合員の代表」としてＪＡの事業や運営について、考えを述べ、不明なことは質問し、十分に討議を尽くし議決することが重要です。とはいっても、総代会は限られた時間にたくさんの議決を決めていかなければなりませんから、事前に配布される資料を前もってよく読むようお願いします。

議決された事項は、組合員の総意となります。総代は議決事項の実行・実現にあたり、すすんで「組合員のリード役」となることが望まれます。

○総代以外の組合員

日々のくらしでの困りごとやＪＡにしてほしいことは、ＪＡに直接伝えるか、地域の総代に伝えてください。組合員の皆さんの声が明日のＪＡをつくります。

JA市原市の主な出来事

JA市原市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。各出来事には、関わりのある「SDGsの17の目標（アイコン）」表示しています。

ドローンを使った水稲直播（ちょくは）を実施
―新コーティング種もみの試験栽培―

▲ドローンによる作業は10㌃当たり15分程度で終了しました

さんわ担い手組合など4軒の米農家は5月10日、管内約200㌶の水田にドローンによる播種作業を行いました。

この取り組みはJAが依頼した、特殊コーティングを施した種子による湛水直播の実証試験です。実用が可能になると、育苗や播種にかかる労力削減と時間短縮になるため、収量の安定性等を検証しています。

参加者は「こんなに早く作業が終わって驚いた。育苗や播種の手間が省けるので、違う作業に時間を割ける。後はコストとの相談」と、興味を示しました。

▲児童から「爪くらいの小さな実から、大きくなるなんてびっくり」と驚きの声が上がりました（写真は4/20）

「いちはら梨」を勉強中！
―市原市立東海小3年生　梨園見学―

市原市立東海小学校3年生30人は、廿五里の梨生産者・渡辺一男さんの梨園で、社会科見学を1年かけて行います。JA職員から、地元の特産品である「いちはら梨」の栽培・収穫工程を、翌年1月まで学びます。

本年度はすでに3回行い、4月20日に「人工授粉作業」、5月11日・6月19日は生育状況に合わせた「摘果作業」について学びました。

▲多くの来場者に元気な野菜苗を手に取ってもらいました

花や野菜の苗の販売大盛況
―第41回市原市園芸まつり―

市原市園芸まつり実行委員会は4月21日から3日間、農業センター芝生広場で「第41回市原市園芸まつり」を開催しました。市内の農業関係機関・生産者が販売する苗や農産物を求め、約5000人が来場しました。

今年は4年ぶりにJA職員による野菜栽培講習会を実施。ナスやトマトなど夏野菜の育て方を、多くの園芸愛好家にアドバイスしました。

スナップエンドウの共同出荷開始

―初出荷　初目合わせ―

▲スナップエンドウの出荷は5月下旬まで行われました（写真は5／8）

今シーズンからJA市原市として初のスナップエンドウの共同出荷を開始。4月20日に初出荷を、5月8日に経済部で目合わせを行いました。

目合わせには、生産者や市場関係者ら10人が参加し、選別方法を確認しました。生産者3人は当日、さやが大きく肉厚で、甘みと香りがある「スナック753」を105ケース（1ケース2キロ）出荷しました。

地元企業の協力で田植え体験

―市原市立海上小5年生―

▲立野さんに教わりながら手植えしました

市原市立海上小学校の5年生7人は5月16日、学校前の水田約5アールに、もち米「マンゲツモチ」の手植えを行いました。

同校の5年生は毎年、地元企業の立野農業開発有限会社の協力で、田植え体験しています。同社は海上小学校のOBである代表取締役・立野佳昭さんを中心に、米作りを通じて、児童の食農教育を支援しています。

小麦の初検査を実施

―市内の有力品種「さとのそら」―

▶実が十分に膨らんだきれいな小麦を検査しました

JAは6月8日、神代倉庫前で令和5年産の小麦の初検査を行いました。海上地区の担い手組織「海上担い手営農組合」の組合員5人は、小麦「さとのそら」をフレコン116袋（1袋1000キロ）持ち寄りました。今年は生育時に長雨が少なく、品質・収量ともに十分な出来となり、全量1等の格付けとなりました。

「いちはら梨」の生育状況を確認

―梨現地検討会―

▲生育を良くするために新梢管理の説明を受けました

市原市農林業振興協議会果樹部（梨部会）は6月8日、廿五里の山越和利さんの農園で梨の現地検討会を開きました。部会員、関係機関職員ら約40人が参加し、梨の生育状況と新梢管理を確認しました。

生育状況は、果実の着果が良好で、果実肥大も概ね平均並み。梅雨入りで黒星病の発生しやすい条件が続くため、防除の注意喚起がありました。

SDGs ©よい食P

農営特集

協同の力、農業の力

市原市の農業は、正組合員で構成される農家組織、組合員組織（通称：部会）によって支えられています。ここでは、市原市内に存在する部会の活動内容や生産物を紹介しています！

さんわ担い手組合／水稲など

発足	平成22年2月
代表者	鈴木敏雄組合長
部会人数	10人
組合の活動内容	各種生産物の栽培管理、農産物の加工販売、イベント出店など
管理農地面積	約56ヘクタール

幅広い世代による営農活動

三和養老地区で平成17年から行われた圃場等の整備事業を契機に、地域農業の活性化と農業の担い手確保をめざし「農事組合法人」として発足しました。整備が済んだ農地は食用米だけでなく、飼料用米などの集団転作や転作作物として野菜の施設・路地栽培にも活用しています。

また組合には幅広い世代が所属しており、特に20代から50代の若手後継者が育ってきています。様々な角度から意見を出し合うことで、新たな営農活動を実践してきました。

新しい技術を積極的に

農業用ドローンや水稲直播（種もみを直接水田に播く水稲技術）など、新しい技術を積極的に取り入れており、自分たちの営農に合う技術を見極めています。新しい機械は、全員で意見をまとめ購入しています。

また、ちばエコ農産物のガイドラインに沿ったエコ米に取り組むなど、環境問題にも気を付けています。エコ米は、化学合成農薬や化学肥料の使用量を慣行栽培より大幅に減らしており、環境にも食べる人にもやさしい米です。

地産地消に力を入れて

エコ米をはじめ、露地や施設で栽培した野菜など、安心しておいしく食べてもらえる農作物を作っています。そうした生産物や加工品を「いちはら大収穫祭」や「市原市園芸まつり」などのイベントで販売し、PR活動を行っています。

将来的には、直売所の経営も視野に入れています。より身近に「市原産」の農作物を感じていただけるよう、新たな技術と様々な世代の仲間たちの力を合わせて取り組みます。

©よい食P

農事組合法人って？

農事組合法人は、農業協同組合法に基づいて設立される農業経営に特化した法人形態です。農業者から構成される協同組織で、事業内容も農業に関連する事業に限定されています。農業生産について協業を図った組合員の共同の利益増進や、集落営農を維持・発展させることに適しています。

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

ニンジン　適期の種まきと灌水で発芽を万全に

園芸研究家●成松次郎

ニンジンの発芽適温は15～25度で、7～10日で発芽がそろいますが、35度以上では発芽しません。発芽直後の種は乾燥すると枯死し、過湿では酸素不足で発芽不良になります。その後の生育適温は20度前後の冷涼な気候です。

[品種] 耐病性、耐暑性に優れる品種を選びましょう。五寸系では「向陽二号」(タキイ種苗)、「ベーターリッチ」(サカタのタネ)、「ひとみ五寸」(カネコ種苗)などがあります。ミニニンジンは極早生で柔らかく、生食向きです。

[畑の準備] 種まきの2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布して、深さ30cm程度に耕しておきます。種まきの1週間前に、1平方m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと完熟堆肥2kgを施し、土とよく混ぜておきます。70～80cm程度の畝幅に、条間20cm、深さ1、2cm程度のまき溝を2条作ります(図1)。

[種まき] 畑が乾いているときは、まき溝に灌水(かんすい)をしておきます。溝に種を1、2cm間隔に条まきし、裸種子は5mmの厚さ、ペレット種子の場合は1cmの厚さを基準に覆土します。軽い火山灰土では手でしっかり土を押さえ付けておきましょう。さらに、もみ殻をかぶせて乾燥を防ぐ、黒寒冷しゃの被覆で地温を下げるなどの対策を行います。

[灌水] 種まき前に土にしっかり水を含ませること、発芽後も土を乾かさないことが大切です。なお、黒寒冷しゃなどの日射を遮る資材でべたがけしたときは、発芽後すぐに取り除きます。

[間引きと追肥、土寄せ] 1回目の間引きは本葉2、3枚のときに密生部や生育の遅れている株、逆に極端に進んでいる株を間引きます(図2－1)。2回目は本葉5、6枚のときに行い、株間を6～10cmにします。間引く株の根元を手で押さえて引き抜きます(図2－2)。最後の間引き後に1平方m当たり化成肥料50gを追肥し、株元に土寄せして株をしっかり固定させましょう。収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せし、根が緑に着色するのを防ぎます。

[病害虫の防除] 葉はキアゲハの大好物なので、見つけ次第、手で取り除きます。ネコブセンチュウに弱いので連作を避け、前作に被害があるときは作付けを控えましょう。

[収穫] 根径5cm程度に肥大した株から順次抜き取ります。年内は肥大が続くので、太り過ぎて裂根しないうちに収穫をします。8月まきでは、さらに土寄せして越冬させ、葉が枯れた後でも適宜掘り上げて収穫できます。

図1　畑の準備

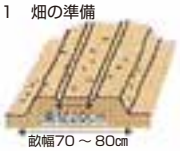
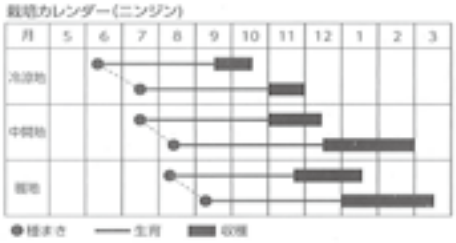


図2-1　間引き①

図2-2　間引き②



いちはら梨 7月下旬頃から販売予定です

今年は梨の開花が例年より早く、収穫時期が早まると予測されます。ご購入の際は販売状況をご確認の上、お買い求めください。

品種	7月 上旬	7月 中旬	7月 下旬	8月 上旬	8月 中旬	8月 下旬	9月 上旬	9月 中旬	9月 下旬
幸水									
豊水									
あきづき									

※幸水についてはお盆前に終了する可能性があります。
※生育状況により、販売期間・商品の品種は異なります。
詳しくは事前にお問合せ下さい。

【お問合せ先】梨共同選果場　☎(23)1174
【場　　所】市原市廿五里529－1
【営業時間】午前9時～午後4時(※出荷日のみ)
【販売店舗】JAの各直売所・梨共同選果場

— 市原のお米を、たくさんの人に —

令和5年産米の集出荷については各営農センターまで

令和5年産米の検査・日程については、各営農センターでご案内いたします。
また、価格については8月中旬～下旬に決定予定です。
JAは販路拡大など全量有利販売に取り組み、生産者買取価格の底上げをめざし、農家所得の向上に貢献します。

令和5年産米全量JAにお任せください

税金ワンポイント講座

税理士・行政書士 満塩美穂

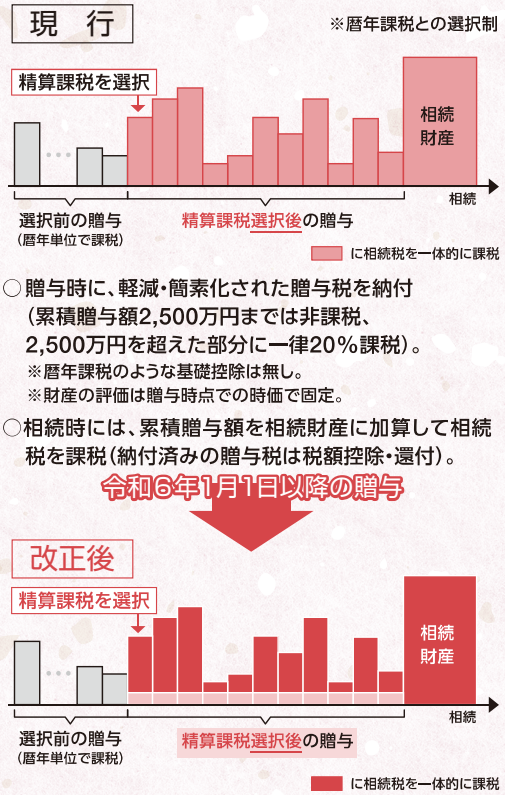
相続時精算課税制度の改正

前回は相続税の申告時における贈与財産の暦年課税の加算期間（3年から7年に延長）を紹介しました。今回は相続時精算課税制度の改正についてです。

18歳以上の人が60歳以上の父母や祖父母（直系尊属）から贈与を受ける場合、相続時精算課税を選択することができます。相続時精算課税は贈与者（あげる人）ごとに選択することができます。この贈与者を特定贈与者といいます。

現行の相続時精算課税には2500万円の非課税枠があり、特定贈与者からの贈与が累計で2500万円に達するまでは贈与税はかかりません。この相続時精算課税は選択すると、以後1円でも贈与を受けた場合、贈与税がかからなくても期限内に贈与税申告の提出が必要となります。

これが令和6年1月1日から2500万円の特別控除とは別枠で110万円の基礎控除が追加されることとなりました。これによって相続時精算課税の贈与税は、毎年110万円までなら相続時精算課税の金額に入れなくてもよくなり、申告をしなくて済むようになります。つまり、いずれ発生する相続の時に相続財産として計上しなくてもよいということです。例えば、父を相続時精算課税の特定贈与者、母を通常の暦年課税とすれば合わせて年220万円の非課税枠となります。



○贈与時に、軽減・簡素化された贈与税を納付（累積贈与額2,500万円までは非課税、2,500万円を超えた部分に一律20％課税）。
※暦年課税のような基礎控除は無し。
※財産の評価は贈与時点での時価で固定。

○相続時には、累積贈与額を相続財産に加算して相続税を課税（納付済みの贈与税は税額控除・還付）。

令和6年1月1日以降の贈与

・毎年、110万円まで課税しない（暦年課税の基礎控除とは別途措置）
・土地・建物が災害で一定以上の被害を受けた場合は相続時に再計算

出典：財務省ウェブサイト
https://www.mof.go.jp/tax_policy/publication/brochure/zeisei23.html

文芸コーナー

JA俳壇・川柳

猪の住みかもありぬ谷清水　五井西　永島　育代

さなぶりにクラブ片手の田マリかな　徳　氏　辺田野山兵

茄子植えて数ヶ月間共に在り　池和田　笠原ふみ子

百姓爺八十次に生きて春をまつ　不入斗　小出　欣幸

龍天に昇るテクノポップの鎮魂歌（レクイエム）　廿五里　紅　はるか

桐繁る駅のベンチに二人連れ　磯ヶ谷　柴崎　勝美

忘れぬ家今年も燕飛び交わす　古敷谷　鎌滝貴美子

下（さが）り藤下をむいても笑顔映え　田　淵　森宮　崇夫

JA歌壇

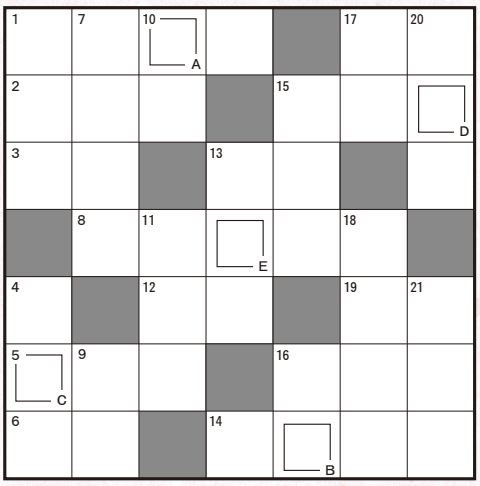
新緑の房総半島家族旅
目ざすは海と山と道の駅　南岩崎　赤石　功

満開の華麗な時は年一回
私も一度はきれいになりたい　古敷谷　鎌滝　久子

孫は友と修学旅行の楽しさを
忘れぬか雑魚寝したがる　野　毛　中川　京子

出資金名義、組合員資格などの変更が生じた場合は、最寄りの支店までご連絡ください。

頭の体操 ■出題　ニコリ



Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■タテのカギ

1 河島英五のヒット曲『酒と泪（なみだ）と――と女』
4 長針、短針、秒針が付いているものも
7 元素記号はＬｉ。電池にも使用される金属です
9 騎手が騎乗時に持つもの
10 手首と肩の間にある関節
11 本に挟みます
13 まだ夜が明けきらない頃のこと
15 種から芽が出ること
16 虫よけのために寝床の周りにつるします
17 定規を当てて引くことも
18 高校球児たちが地方大会で――を繰り広げています
20 トップ・――・ボトム
21 駅の券売機で買います

■ヨコのカギ

1 七夕伝説のヒロイン
2 青島幸男氏や石原慎太郎氏が務めました
3 手のひらや足の裏の反対側
5 蚊取り線香から立ち上るもの
6 ――を聞いて十を知る
8 ルーペともいいます
12 兄弟姉妹の息子のこと
13 チョウが花を巡って吸うもの
14 テントを張ったりして野外活動を楽しみます
15 ――タオル、――ソープ、ゴッド――
16 一時的に建てるもののこと。――住宅
17 アブラ、クマ、ミンミンといえば
19 地球の衛星です

◆５月号の答え

A ア　B マ　C リ　D リ　E ス　でした

（応募総数32通、正解32通）

ご当選おめでとうございます♪

大野　敏子さん（若宮）　安藤　照雄さん（大坪）
根本　　忍さん（馬立）　石井　喜一さん（万田野）
小沢　　萌さん（朝生原）

正解者の中から抽選で５名様に記念品をプレゼントします

★応募方法

ハガキに①答え②住所③氏名④年齢⑤職業⑥電話番号⑦ＪＡや本誌に対するご意見、ご要望――などを記入のうえ、下記までお寄せください。webからの応募も可能です。

宛先　〒290-0073　市原市国分寺台中央１-７-３
ＪＡ市原市「ＪＡだより」係

◆締切：令和５年７月末日必着
◆発表：令和５年９月号誌上

☆本誌への投稿・応募に際して取得した個人情報は、「個人情報保護法」に基づいて取り扱います。なお、プレゼント当選者・文芸欄採用者については、お名前などを掲載させていただきます。

お天気カレンダー

遠くにあっても台風に注意

気象予報士　檜山靖洋

例年、子どもたちの夏休みに合わせるかのように、本州付近では梅雨明けとなります。子どもの頃には、海水浴、旅行、キャンプ、花火大会と、夏の楽しみがめじろ押しで、夏休みと梅雨明けが近づくと、とてもウキウキしたことを思い出します。

海水浴に行く前には、晴れていても雷雨がないか、風が強く波が高いかどうかなど、天気予報を確認しましょう。ただ、穏やかな天気でも油断しないでください。思わぬ高い波がやって来ることがあります。原因は、遠くの海にある台風からのうねりです。遠くの台風からのうねりが入ると、平均してそれほど波が高くなくても、１０００波に１波は、２倍以上の高さの波がやって来ることがあります。３時間に１回程度、大波が来るということです。

遠くに台風があるかどうかもチェックして、台風がある場合は無理をしないようにしてください。

蕗味噌を肴に独り酒を酌む
遠くに母の蕗味噌の味
神代　立野　廣幸

こちらから声をかければいつの間に
無口な人と会話はずめり
佐是　平野十四夫

つゆきたり山の色合い仲良しに
次の変りは休眠まじか
高滝　日野　恵司

小屋の糞飼葉の桶の転音（ころおと）は
愛馬の蹄か戦出る日の
奉免　石井　あさ

横切った太った丸い猪が
ああ恐ろしや野獣の国
田淵　鈴木　重人

すでにして原野となるや休耕田
父祖を想いて整備に汗す
古敷谷　鎌滝　文彦

返納し自転車に乗りなれたなら
祖父はいっさきヘルメット買う
椎津　布施　昌子

※投稿作品は**読みやすい字で記入し、振り仮名を付け、令和５年７月末日まで**に11ページの宛先までご応募ください。なお、匿名希望の方は、俳号・雅号（ペンネーム）を必ずご記入ください。
※投稿作品は９月号（令和５年８月発行）にて掲載予定です。
※スペースの関係上、掲載されない場合がございます。あらかじめご了承願います。

JAへのお問合せ先
【本店】監査室　総務部　経営企画部　金融部　☎(23)8555
共済部　☎(36)6611
経済部　☎(36)5811
葬祭部　☎(95)4444
ＪＡホール市原　☎(40)4444
ＪＡホール南総　☎(92)4949
JAメモリアルホール南総　☎(92)3737

みんな来てくださいな果彩菜

トマト・ゴーヤ・ピーマンが並びます

6月下旬からはナスやトマト、キュウリなど夏野菜がぞくぞくと出荷されます！
夏が旬の野菜で、色が白・青・緑、地面の上にできるものは、身体を冷やすといわれます。
暑くなるこれからの時期に地元食材で一品いかがでしょうか？

7月7日は冷やし中華の日！

夏らしい暑さになり冷やし中華がおいしくなる季節であることから制定されました。盛り付ける具によっていろいろなアレンジができます。

果彩菜ちはら台店では冷やし中華麺を取り扱っています。「エーコープ国産小麦の小麦粉づくりの冷し中華」シリーズは国産小麦粉 100％を使用した乾麺タイプで、麺はスープが良く絡む「もみ切り打ち製法」を使った「ちぢれ麺」の冷やし中華です。

果彩菜ちはら台店
公式インスタグラム

旬のおいしさ いただきます！ Vol.8

暑い時にサッパリ美味しく！

トマト味の冷やしかけうどん

トマトやツナのほかにもお好みの具材を一緒に入れて、手軽に食べられるうどんです。お好みできざみのりやしそ等の薬味をどうぞ。

作り方

1. トマトを1口大にカットする。
2. ボールに①とツナ、オリーブオイル、お酢を入れまぜる。
3. たっぷりの熱湯で手振りうどんを茹で、冷水にさらし、水をよく切って器に盛る。
4. ②をトッピングしお好みの量の希釈めんつゆをかけて完成。

材料（2人分）

エーコープ手振りうどん	2束
トマト	1個
ツナ	1缶
オリーブオイル	小さじ1
お酢	小さじ1
希釈めんつゆ	適量

【直売所】 農産物直売所果彩菜ちはら台店 ☎(52)7000
五井Aマート ☎(21)8010
【給油所】 養老給油所 ☎(36)3316
ジャスポート高滝 ☎(98)0436
【㈱市原市農協サービス】 資産管理センター ☎(24)2621

今一度ご確認ください!

消費税インボイス制度

令和５年10月１日からインボイス制度(適格請求書等保存方式)がスタートします。ＪＡだよりでも令和５年１月号・３月号で紹介しました。農繁期を迎える前に、インボイス制度のポイントをおさらいします。

監修：ＪＡ全中・ＪＡまちづくり情報センター　顧問税理士　柴原 一　　イラスト：出口由加子

（インボイス制度のポイント）

①インボイスとは、適用税率や消費税額などの正確な情報を記載した書類やデータのこと。

②令和５年10月から原則課税方式により消費税を申告している事業者が仕入税額控除(売り上げにかかった消費税額から仕入れにかかった消費税額を差し引いて納税すること)を行うためには、原則として仕入れ先からインボイス(適格請求書)を発行してもらい、保存しておく必要がある。

③インボイスは税務署長の登録を受けた課税事業者にのみ発行が可能。

④今回の制度変更によって生じる免税事業者への影響を考慮して、経過措置が設けられている。

JA市原市 令和5年産米買取について

９月末買入分までは、例年通りですが、10月１日以降の買入分からインボイス発行事業者と免税事業者とで、買入価格に差をつけさせていただきます。

インボイス制度についての一般的なご質問やご相談は、
消費税軽減税率・インボイス制度電話相談センター
0120(205)553[無料]
【受付時間】午前９時～午後５時[土日祝除く])、
または国税庁ホームページ(https://www.nta.go.jp)
「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

※内容は令和４年12月現在。今後変更される場合もあります。
※令和５年10月以降の当ＪＡでのお取引については詳細が決定次第ご報告します。

JA市原市・JA長生・JAいすみ・JA全農ちば

第5回 南総サマーフェア

7月7日(金)・8日(土)

時間：７日（金）９時～15時00分
　　８日（土）９時～14時30分
場所：JA全農ちば南総センター
住所：長生郡長南町本台628

展示会期間限定特価

工進
充電式刈払機
参考販売価格　30,400円(税込)
9,400円OFF
※各日5台
21,000円(税込)

バッテリー：5.0Ah
充電時間：約3時間
運転時間：高速 約100分
　　低速 約300分
草 刈 刃：チップソーφ230㎜
本体重量：5.3kg

当日持ち帰り各日5台限定

JA市原市　農機センター　☎0436(92)5650

JAへのお問合せ先

【センター】
中央営農センター　☎(36)3301
中央営農センター北部店　☎(75)7911
東海営農センター　☎(21)1510
南部営農センター　☎(92)4811
南部営農センタージャスポート高滝店　☎(98)0411
西部営農センター　☎(61)8747
農機センター　☎(92)5650

海上産枝豆オーナー募集します

海上地区の圃場で栽培している枝豆(黒大豆)を、今年の10月下旬に収穫していただくオーナーを募集します(収穫の目安は1区画につき約50～60株、どんぶりで50～60杯くらいです)。

【実施場所】市原市立海上小学校付近の圃場
【収穫時期】10月25日前後(予定)
【料　　金】１区画(約５坪)４，０００円
【募集区画】２００区画(先着順)
【申込期間】定数に達し次第締切
【申込方法】「住所・氏名・電話番号・申込区画数」を電話またはFAXにてお申し込みください
【お申込み・お問合せ先】
市原市海上土地改良区事務所
☎(３６)６８６３　FAX(３６)６９３７
(※平日午前９時～午後５時。土日祝および８月10日～16日は休業)
主催:海上担い手営農組合
後援:市原市海上土地改良区・市原市
協力:ＪＡ市原市

ケット水分計の点検・修理を行います

ケット社製の米麦水分計の点検・修理を行います。点検は無料ですが、修理・部品交換などは有料となります。お預かりして、点検いたしますので、７月３日(月)までにお近くの営農センターまでお持ちください。
※ケット社製以外の製品はお取り扱いできません。

市原フルーツフェスティバル開催！

梨をはじめ市特産のスイカやメロンなどのフルーツをＰＲするイベントを行います！入場料無料(一部イベント有料)。
【開催日時】７月29日(土)午前10時～午後２時
【場　　所】アリオ市原サンシャインコート(屋外)
更級４-３-２
【お問合せ先】
市原市経済部農林業振興課　☎(36)4187
ＪＡ市原市経済部　☎(36)5811
主催:市原フルーツフェスティバル実行委員会
協力:アリオ市原

数量限定となりますので、ご注文はお早めに。

新盆商品の展示を行っています

【展示日時】　6月4日(日)～7月17日(月・祝)
午前10時～午後4時

【展示場所・お問合せ先】
●葬祭部(旧戸田支店)
市原市上高根343番地　☎(95)4444
●ＪＡホール市原
市原市藤井3丁目171番地　☎(40)4444
●ＪＡホール南総
市原市牛久855番地　☎(92)4949

※ご葬儀中はご案内できない場合がありますので、ご来場前にお電話をいただきお時間の確認をお願いします。

金融部から

JA市原市 サマーキャンペーン

抽選権付定期貯金

取扱期間
令和5年7月3日(月)～8月31日(木)

市原市産 梨5kg
抽選で100名様にプレゼント！
お預入金額50万円ごとに抽選券が1口付いてくる！
※天候不良により、代替えの品になる場合があります

スーパー定期貯金
新規お預入金額50万円以上
期間1年(自動継続式)
※初回満期日以降は店頭基準金利が適用されます。

当JA募集額20億円
募集額を完売した場合は、その時点で募集を打ち切らせていただく場合がございます。

詳しくはお近くの支店窓口にお問合せください。

●ＪＡカードの紛失・盗難
NICOS盗難紛失受付センター　0120(159)674
※24時間年中無休

●葬　祭
ＪＡ市原市葬祭部　☎(95)4444
0120(043)676

●ＬＰガス
㈱JA-LPガス情報センター
0120(182)571

農作業の求人・求職受付中！

当ＪＡでは農業無料職業紹介事業を行っています。農業求人ＷＥＢサイト「ちばの農業で働こう！」で農業求人を随時掲載しています（「求人ジャーナル」や「indeed」でも掲載）。詳しくは当ＪＡ経済部まで。

４月・５月理事会次第

４月の理事会で次の事項が承認・報告されました。
令和５年４月28日（金）
市原市民会館２階会議室
【議決事項】
（１）一取引先１億円を超える貸出金
（２）一取引先１億円を超える貸出金
（３）コンプライアンス態勢運営要領の一部変更
（４）個人情報取扱規程の一部変更
（５）特定個人情報取扱規程の一部変更
（６）ディスクロージャー誌の開示
（７）余裕金運用規程の一部変更
（８）令和４年度県随時検査「検査指摘事項に対する改善状況等の報告」
（９）令和４年度決算に係る監事監査結果に基づく改善を要する事項に関する回答書
【報告事項】
４月事業・行事報告の他13件の報告事項がありました
※農産物直売所五井Ａマートの建替えについて上程されましたが、再審議となりました

５月分の理事会で次の事項が承認・報告されました。
令和５年５月30日（火）
市原市民会館２階会議室
【議決事項】
（１）出資減口の承認
（２）一取引先１億円を超える貸出金
（３）給与規程の一部変更
（４）ＪＡ遊休資産等検討委員会設置要領の一部変更
（５）令和５年度ライスセンター加工料の設定
【報告事項】
5月事業・行事報告の他2件の報告事項がありました

始まります！ NISA口座開設キャンペーン

キャンペーン期間中に当ＪＡで新たにＮＩＳＡ口座を
①毎月5,000円以上のつみたてＮＩＳＡを始められた方
②ＮＩＳＡ口座で100,000円以上のお取引をされた方

©よりぞう

①か②どちらかの条件で開設いただいた方を対象にクオ・カード2,000円分をもれなくプレゼント！
【取扱期間】７月３日（月）～ 12月29日（金）
詳しくはお近くの支店窓口にお問合わせください。

４年ぶりの開催 国府祭り出店者を受付中

「第10回上総いちはら国府祭り」が９月30日（土）・10月１日（日）に開催されます。出店をご希望の方は、当ＪＡ経済部までご相談ください。
【申 込 期 限】７月５日（水）まで
【お問合せ先】ＪＡ市原市経済部　☎（36）5811
※開催概要については
上総いちはら国府祭り実行委員会事務局 ☎（23）9755まで

人事異動

【異　動】　【令和５年５月15日付】

氏　名	所属〔旧任〕
山田　朋花	総務部付（育休）〔中央営農センター〕

【令和５年６月１日付】

箕箸　　智	総務部総務課総務係〔経済部営農販売課営農係〕
鈴木　浩太	金融部融資課課長〔同部同課係長〕

【退　職】　【令和５年４月30日付】

氏　名	所属
石川　祐司	姉崎支店

【令和５年５月31日付】

藤田　忠一	共済部業務査定課課長
齋藤　みき	共済部業務査定課業務係
長島　京子	経済部購買店舗課店舗係（パート）
佐藤　智貴	経済部営農販売課直販係
釘崎　英治	月崎支店

農繁期営業・直売所臨時営業のご案内

	7月	8　月								9　月			
	29日(土)	5日(土)	9日(水)	11日(金・祝)	13日(日)	19日(土)	20日(日)	26日(土)	27日(日)	2日(土)	3日(日)	9日(土)	10日(日)
中央営農								○	○	○	○	○	○
中央北部店								○	○	○	○	○	○
東海営農	○	○		○									
南部営農								○	○	○	○		
農機						○	○	○	○	○	○		
養老給油所									○		○		○
ジャスポート高滝									○		○		
直売所			果彩菜	Aマート	Aマート								

【営業時間】
★営農・農機センター　午前９時～午後４時
★養老給油所　午前８時～午後５時
★ジャスポート高滝　午前８時～午後５時
★農産物直売所　午前９時30分～午後５時

☆西部営農センターは通常通り
☆天候によって変更となる場合があります
詳しくはホームページ、店頭告知にて確認ください

休日・夜間の緊急連絡先
●自動車事故
ＪＡ共済事故受付センター　0120（258）931
※24時間年中無休で事故受付とアドバイスを行います。
●キャッシュカードの紛失・盗難
カード紛失・盗難受付センター　☎043（202）1171
※詳細は当ＪＡホームページをご覧ください。

今月の煌き女性（きらめびと）

—vol.19—

JA市原市女性組織

ハーブを楽しむ会

（代表：小田慶子（おだけいこ）さん）

ハーブスティック

バスソルト

丹精したラベンダー畑

イベントでのワークショップ

今回ご紹介する「ハーブを楽しむ会」は、JA女性組織のグループの一つで、ハーブの栽培やクラフト（作り手がこだわって少量生産で作った工芸）の制作、草花を用いた加工品のワークショップ（体験型講座）などの活動を行っています。

○活動のきっかけは？

健康的な生活のサポート役として、ハーブの持つ魅力を多くの人に知ってもらいたいと以前から個人的に活動していました。

会の結成については、3年前まで子どもとJAのキッズファームに参加しており、卒業時に当時のJA女性組織担当の職員さんに声をかけてもらったことがきっかけです。今では、近所のママ友を中心にメンバー8人でやっています。

○どんな活動をしているの？

ハーブや花を使ったリースやスワッグ等のクラフトを作成したり、ティーにして飲んだりしています。去年は、タンポポを使った草木染めに挑戦しました。

2年前からは海保に畑を借り、ハーブ（ラベンダー数種やカモミールなど季節のハーブ）を自分たちで栽培しています。小さい農園なので、農薬や化学肥料を使わない栽培ができ、使用したい分をいつでも採取できるので重宝しています。

また、昨年11月の「いちはら大収穫祭」では27組の親子に、ローズマリーを用いたハーブリース作りを体験してもらいました。親子向けのワークショップにもっと力を入れたいです。

○今後の目標は？

働いているメンバーが多く、それぞれのライフスタイルに合わせた活動で、薬草に親しみ、生活の中で簡単・楽しく活用することを目標にしています。メンバーの癒しの一助になればと思います。

活動としては、ハーブの栽培品種を増やすことや、より深くハーブに親しむためのワークショップの開催、他県のハーブ園への視察など行いたいことがたくさんあります。メンバーや畑の貸し主さん、JA職員さんたちなど様々な巡り合わせがあってここまでできたことなので、できることから一つ一つ進めていきたいです。

活動にご興味を持たれた方はこちら
【お問合せ先】
経済部 生活担当 ☎(36)5811

JA市原市広報誌　JAだより
2023年7月号（421号）
次号（2023年9月号）は8月下旬の発行予定です

■発行　市原市農業協同組合（JA市原市）　経営企画部
〒290-0073　千葉県市原市国分寺台中央1丁目7番地3
TEL　0436(23)8555
https://www.ja-ichihara.or.jp